

授業科目名	観光資源実習	担当教員	塩川 太郎 高橋 加織 辻村 謙一
必修の区分	選択		
単位数	1 単位		
授業の方法	実習		
開講年次	1 年 第 2 クォーター		
講義内容	但馬地域は海と山に囲まれ、自然の観光資源が充実している。本授業では、海の観光資源として豊岡市北部の海岸沿いの観光施設と山の観光資源として豊岡市のスキー場（夏場はキャンプ場として利用）や文化施設等にて実習を行う。但馬地域の自然を利用した観光レジャーを体験するとともに施設の業務に従事することで観光資源の知識及び施設の運営ノウハウやホスピタリティ力を修得する。		
到達目標	実習の経験をもとに但馬地域の観光資源の魅力について具体的に述べる ことができる。実習先の海や山の自然環境に関する知識を身に付けると同 時にそれらを活かした観光振興について考えることができるようになる。		
授業計画	1. 「実習地選定」複数の観光施設から実習を行いたい場所を選択する。 （提携先の事情により希望に添えないこともある） 2. 「事前講習」実習する施設の基本情報や注意事項など 3. 「実習計画書作成」実習計画書を作成し、学習ポイントを確認する 4. 「実習」5 日間ほどの実習を行う A) 海の観光資源（例） 実習施設：兵庫県立円山川公苑等 1 日目：オリエンション、目標設定、基礎訓練、レジャー体験 2～4 日目：実習 カヌー・カヤック・SUP 等の体験プログラム及び美術館、施設運 営等 5 日目：目標達成状況等報告、施設長との意見交換 B) 山の観光資源（例） 実習施設：県内キャンプ場施設、コウノトリの郷公園等 1 日目：オリエンション、目標設定、基礎訓練、レジャー体験 2～4 日目：実習 キャンプ場、サマーゲレンデ、自然体験プログラム及び施設運営 等 5 日目：目標達成状況等報告、施設長との意見交換 5. 「完了報告書作成・報告会」 完了報告書を作成し、報告会にて今後の観光振興について意見を述べる		
事前・事後 学習	事前：実習施設等を調査し、実習計画書を作成する。 事後：完了報告書を作成し、報告会を行う。		

テキスト	なし
参考文献	なし
成績評価 の 基 準	①事前学習会への出席、②実習計画書、③実習態度（日報等含む）、④完了報告書、⑤完了報告会での発表等により評価を行う。詳細は事前学習の際に連絡。
履修上の注意 履修要件	病気や怪我等がある学生は履修前に担当教員に相談し、参加可能であるか確認すること。海コースでは一部水中・水上での活動を伴うことがある。5 日間の全日程参加が求められる。各実習先で実習日が異なるため、慎重に選択を行うこと。
実践的教育	学外の臨地実務実習先の実習指導者から、実践的な指導を受けながら実習をすることから、実践的教育に該当する。
備考欄	実習先の都合により内容は変更になる場合がある。また参加希望者が多い場合は事前に抽選を行う。詳細は担当教員に問い合わせること。